



「ダイアンサス」

一人の健康から地球の未来まで

AKATSUKA グリーン通信

Green Communication

vol.169 2013.4月号

寄せ植えにピッタリ! ダイアンサス

ダイアンサスはナデシコやカーネーションの仲間で、一年草として扱われるものから多年草まで、多くの種類があります。テルスターなどの花壇用のナデシコ類もこの仲間ですが、特に近年トコナツと呼ばれる小型のナデシコから改良された園芸品種が数多く登場しています。四季咲き性が強く、ほぼ一年中花をつけ、あまり大きくならないので鉢植えやコンテナなどの寄せ植えにピッタリの種類です。元々トコナツは、江戸時代に中国原産のセキチクから改良して作られた日本独自の園芸品種で、春から秋まで、途切れることなく咲き続けるのが特徴の優れた花なのですが、花が小輪で、やや性質が弱い所がありました。それを元にして花を大きく、性質も丈夫にしたのが最近の園芸品種群です。

◆ ダイアンサスの仲間 カーネーション

カーネーションと言えば母の日の鉢植えが連想されますが、花壇用に使えるガーデンカーネーションもたくさん登場しています。切り花や鉢植え向きのカーネーションに比べ、花弁の重ねは少ない(花弁が多いと雨で傷みやすいので)ものの、次々と花を咲かせてくれ

る丈夫さが魅力です。特に人気の高いのがマジカルチュチュで、淡いピンク色で咲き出し、徐々に色濃く移り変わつて行くのが特徴ですが、色合いによっていくつもの品種があります。さらにこの仲間で、とても良い香りのパープルアロマも人気の高い品種です。

◆ 長く花を楽しむために

ダイアンサスの仲間は元々多年草の性質があるのですが、どちらかと言えば短命で、放っておくと枯れてしまうことも多いので、やはり長く楽しむためには適切な手入れが必要です。花の後々をつけてしまうと、株が消耗してしまうため、終わった花は早めに摘み取るのはもちろんですが、茎ごとに



「マジカルチュチュ」

◆ 日光と肥料も忘れずに!

もちろん草花なので、日当たりはとても重要です。普通のカーネーションでもそうですが、暗い所に置いてしまうと新しい花が咲いてこないだけでなく、咲いている花もすぐに終わってしまうことがあります。室内に置く場合はとにかく窓辺で日光に当てることが重要です。次々に咲いてくるので肥料も忘れずにおえてください。ハイポネックスなどの液体肥料を薄めて水代わりに与えるか、または鉢物用の固形肥料を月に一度は与えるようにしましょう。生長が早く、根詰まりしやすいので、植え替えも早めに行うのがポイントです。